

平成 28 年度 第 1 回碧南市図書館協議会 会議録

1. 日 時

平成 28 年 6 月 29 日（水）午前 10 時～午前 11 時 30 分

2. 場 所

碧南市民図書館 2 階会議室

3. 出席者

（１）出席者 水野利亮、宮本美枝子、油谷修子、石川和昌、奥谷正治、
神谷猛、神谷俊幸、石川まさ恵（欠席者 2 名）

（２）事務局職員 教育長 高松透、教育部長 鈴木重幸
文化創造課長 村松幸雄、市民図書館副館長 関由香、
南部分館長 大橋幹広、中部分館長 長谷川有里

4. 傍聴者 1 名

5. 協議会内容

- （１）会長あいさつ
- （２）教育長あいさつ
- （３）委員の自己紹介
- （４）会長の選出について
- （５）副会長の指名について
- （６）議事内容

①平成 27 年度図書館実績について

（「碧南市の図書館 2016」を基に事務局が説明）

27 年度の図書の受入は全館で 11,276 冊、除籍は 6,210 冊で年度末の蔵書冊数は 530,165 冊となった。これは前年度対比でみると 0.9%の増加となる。また視聴覚資料は受入が 406 点、除籍が 338 点で、前年度対比 0.3%の増となった。

図書館入館者は 305,108 人であり対前年度比 3.6%の減少となった。貸出利用者は延べ 130,414 人で前年度対比 2.5%の増加となった。一方資料の貸出点数は 595,876 冊で対前年度比では 2.3%の減少となった。全国的にみても図書館の貸出点数は減っているところが多い。スマホなどの影響が大きいと思われる。本の移動をする表紙見せを増やす、時期にあわせた特集コーナーを作るなど工夫していきたい。

次に各館の事業実績の説明に移る。全体的な事柄としては、平成 27 年 7 月より国立国会図書館デジタル化資料送信サービスを開始した。9 ヶ月間で利用申請が 19 件、複写申請が 20 件、複写枚数 672 枚の利用があった。国立国会図書館に行かないと読むことが出来なかった資料が碧南市で利用できるのが大変便利だと利用者から感謝の言葉をいただいている。

また、28年3月に「碧南市子ども読書活動推進計画（第三次）」を策定し、新しい取り組みを開始した。これは子どもが読書に親しむ環境を整えるための計画で、第三次では平成28年度～平成32年度の期間で行う。新しい委員の方のみ、机の上に置いてあるので参考にさせていただきたい。

続いて、平成27年度の事業実績の説明を各館担当者より説明する。

〔本館〕

「碧南市の図書館」の訂正をまずお願いしたい。P33の下から4段目「図書館訪問」だが、随時（8回）となっているが20回が正しい。また、参加者数も328人となっているが589人が正しい。申し訳ないが、それぞれ訂正をお願いする。P32の上から4つ目まで、「おはなし会」から「絵本の時間」までが毎月定例的に行っている行事。参加人数は平成26年度と比較してトータルで若干の減となっているがほぼ同じ。また、新しい取り組みとしては、P33の「図書館セミナー：やさしい相続遺言セミナー」を行った。弁護士の先生が講師。身近な法律問題をお話していただき、図書館のデータベースの講習会も合わせて行った。近隣の図書館で同じ催しを行っており、碧南市でも行って見たが、みなさん熱心に聴いておられ、人数は多くはないのだが、市民の方たちに必要とされている情報だと感じた。それから、「市民病院みなみルーム訪問」を開始した。これは、司書が市民病院に出向き、新生児の保護者へ絵本の読み聞かせの大切さをお伝えするもの。8月から開始し4回で38人の参加があった。すぐに結果がでるものではないが、より早い月齢の赤ちゃんに「読み聞かせ」を家庭で行っていただけるよう、地道に行っていきたいと思っている。

また、市民との協働でも活発に活動があった。「碧南の図書館友の会」では「視察見学会」や「音楽と朗読の夕べ」や「リサイクル本バザー」を行った。また、「かざぐるま」「夢クラブ」「えほんの森」の方たちには、本館だけでなく分館でもおはなし会を手伝っていただいている。また、「ひびき」の方たちには、障害をお持ちの方に「本の世界」を楽しんでいただく「対面朗読」や「音声訳」を行っていただいている。ボランティアさんは、図書館になくてはならない存在となっている。この場をお借りしてお礼申しあげる。

〔南部〕

なるべく南部分館に来館してもらうのを目標に事業計画を立てている。小さい子を対象とする事業を行うと親やおじいさんおばあさんも来館する。また南部プラザはアリーナがあるためアリーナ使った事業が特徴としてあげられる。

〔中部〕

中部分館は定例的なおはなし会は低年齢化している。南部分館同様に中部も中庭を利用した行事を行った。「なりきりおはなし会」は中庭で行った。秋の読書月間行事では「金曜日はお楽しみ」は金曜日の夕方利用が少ない時間帯に行い、利用を増

やす試みをした。簡単な工作やおはなしを楽しんだ。4回で84人の参加があった。平日に利用していただく機会が増えたのではと思っている。今後もあるものを有効活用していきたい。

【質疑応答】

会 長 : 平成27年度の利用実績での質問はあるか？

A 委 員 : 利用が減っているということだが、どこの年齢層が減っているのか？

事 務 局 : 最新ではないが、以前調査したところ30代の女性利用者の減少が著しかった。料理のレシピ本など「暮らし」の分野の貸出数が減っていた。料理本は「クックパッド」などで代用でき、旅行のガイドブックも同様の内容がインターネットの情報で出てくる。ネットの情報で済ませてしまうことが多くなっていると思われる。反対に、館内を見ていると60代以上の男性が増えている。借りることは少ないので貸出数にはあがってこないが、新聞や雑誌を館内で閲覧されている。

B 委 員 : 事業の参加人数のトータル数があると良いと思うが「碧南市の図書館」に載せることはできないか？

事 務 局 : 事業の種類によって参加人数が大きく異なる。工作教室だと多くても30人クイズのようなものと150人くらいになる。本館はいろんなものを行っているため、年間の合計でほぼ同数になるが、分館は目先を変えて行事を行うと増減が激しい。参加人数が増えたからこの分館が頑張っていて、減ったから怠けている、という基準にはなりにくい。

C 委 員 : 学生の勉強の場としてはどのように使われているか？

事 務 局 : テスト期間中や夏休みなどは開館前から並んでいる。ただ、「学習室」といった独立した部屋はなく、社会人とエリア分けをして使ってもらっている。旧本館より今の本館では座席数がかなり増えている。他所の図書館でも足りない時期は足りない。昼ごろに帰る人もいるので、場所取りが出来なかった子にはそれを伝えるようにしている。

C 委 員 : 入館者数には勉強の子達もカウントされているのか？

事 務 局 : 入っている。

A 委 員 : 公民館でも子どもたちが学習しているようだ。図書館の利用であるかどうかは別としてそういう利用もされている。

会 長 : 先週も学生が開館前から並んでいた。利用が減っているということだが近隣の図書館でも同じ状況なのか？

事 務 局 : 近隣をすべて調査したわけではないが、減っている館がほとんど。豊田市も図書館協議会の記録をみると減少しているようであった。全国的に見てもスマホの影響があり活字離れがあるようだ。ただ、館内を見ると

平日の午前中でも館内はガランとしておらず利用者が館内に結構いる。
インターネットだけでは得られない情報が本の世界にはある。使い分けて
いただくといいかなと思っている。

②平成 28 年度図書館の事業計画及び関係予算について

〔本館〕

月ごとに行うおはなし会などは変わりなく行っていく。特徴的なものとしては、
配布資料にチラシがあるが、11月に碧南市で「全国醤油サミット」が開催される
のに伴い、図書館でも関係事業を行っていく。碧南市は全国的にも珍しい「白し
ょうゆ」発祥の地と言われており、また図書館本館から歩いて行ける距離に「白
しょうゆ」を作ってみえる会社が3社ある。そこで、各会社と図書館が協力して
事業を行っていく。「白しょうゆ工場見学」だが、小学生親子を対象として行う。
またクイズラリーは、各社より賞品を出していただく予定。11月には日東醸造の
社長さんが講師で、自分で白しょうゆを作る講座を行う予定。

〔南部〕

今年度もアリーナを使って行事を行う。「おばけのおはなし会」はアリーナを暗
くし、ブラックライトを点けておはなし会を行う。ミイラ男にも変身し楽しく行
う予定。

〔中部〕

例年通りに行っていく。「元気っスへきなん」開催にあわせ、おはなし会を行う。
涼みがてら図書館でおはなし会を楽しんでもらう予定。秋の読書月間行事では「図
書館をデコろう」では図書館内の壁面を折り紙や木の実で利用者に工作してもら
い、出来上がったものを飾る、という行事。利用者が楽しめる行事を行って行き
たい。

次に平成 28 年度図書館図書館関係予算の説明にうつる。

「図書館事務管理事業」は減っているが、図書の配送業務にかかる経費が市役所行
政課に移行したため。配送業務は以前と変化せず行っている。

「図書整備事業」では少しだけ資料費が増えた。増えた分は消耗が激しい団体貸出
用の資料の買換えを行う予定。

「中部分館施設維持管理事業」も減っているが、修繕をする対象が異なるために金
額が毎年異なってくるのが理由。今年度はイスの張替えと屋上に置いてある機械の
ための小屋を修繕する予定。

「市民図書館臨時事業」も工事や修繕の種類で大きく昨年と変化している。今年度
は駐車場の工事などがなかったため減っている。今年度の予算は「障害者差別解消法」
が施行された関係でボランティアさんが使用する機械類の購入や「図書館サービス
計画」策定のための予算が計上してある。

【質疑応答】

会 長 : 平成 28 年度図書館の事業計画及び関係予算について一括で質問を受付ける。

B 委 員 : 予算がトータルで 270 万くらい減っているが、一律で昨年より何%減額しなくてはならないような指示があったのか？

事 務 局 : 以前は財政再スタート宣言で経常経費を 1 割カット、ということがあったが現在はない。先程説明したとおり、昨年度は駐車場整備があったが今年度は今のところ駐車場整備などの大きな工事が無い。そのため臨時経費が減っている。図書館サービス計画策定で 30 万余や障害者サービスの機械購入費などが臨時経費の使い道。

D 委 員 : 個人的な話だが、いろんな行事の時間帯は？

事 務 局 : おはなし会は基本的には午前中に行っている。10 時 30 分からが多い。保育園に入る前の子どもたちのおはなし会は 30 分程度で行っている。ボランティアさんと図書館が一緒に行く大きなおはなし会などは午後に行くこともある。

D 委 員 : 孫を連れていきたい。

③「碧南市図書館サービス計画（第二次）」の策定について

今年度「碧南市図書館サービス計画（第二次）」の策定に取り組んでいる。

これは、現在の本館を建設する際、平成元年に作成した「碧南市の図書館計画」、平成19年に作成した「碧南市の図書館サービス計画」に続くもの。「碧南市のサービス計画」の計画期間が2007年～2016年の10年間で、計画期間が終了することから今年度作成することになった。策定を行う根拠は、平成20年には図書館法の改正し平成24年には文部科学省より「図書館の設置及び運営上の望ましい基準」が改定された。これからの図書館では、地域の課題を解決するための情報提供の充実や図書館の目標を定め地域の実情にあったサービスの向上を進めていくことが必要とされている。利用状況を分析し、市民の皆様の意見とりいれながら「図書館サービス計画（第二次）」の作成を進めていきたいと思っている。

大まかなスケジュールは、5月26日にアドバイザーの小川俊彦氏が来館され、碧南市民図書館（本館）の館内を実際に見ていただいた。

小川俊彦氏は、本館建設時からアドバイザーとして碧南市の図書館に関わっておられ、この図書館のことを熟知しておられる。また、日本図書館協会役員や千葉県の市川市立図書館長、長崎市立図書館長などを歴任され、現在は神奈川県の子市立図書館の館長としてご活躍されている。次に、7～8月に無作為抽出による1,000人の市民を対象としたアンケートを実施。これは、図書館を利用しない方のご意見も集めたいため、「郵送」で行う。また、8月末には利用者のご意見を取り入れるた

めに、本館・分館で来館者アンケートを行う。11月中旬に、この図書館協議会に「素案」を見ていただき、委員の皆様からのご意見を頂戴したい。

そのため今年度は会議が1回増えることになる。お忙しいとこと申し訳ないが、よろしく願いいたします。

その後パブリックコメントを通して、市民の皆様のご意見を取りまとめながら完成する予定。3月上旬の第3回図書館協議会でパブリックコメントの結果を加えた最終報告をさせていただく予定。

【質疑応答】

A 委 員 : 碧南の図書館の特色があると思うが、アドバイザーの先生からはどんなところをポイントにしたらいいか意見はあったか？

事 務 局 : 逗子市が碧南市より少し人口が少ない市。経済が右肩上がりだった時代は図書館界も強気な運営であったが、現在の経済状況を反映させ「費用対効果」を考慮いくべきだと言われた。碧南市の図書館は蔵書数が多いが、蔵書数も多すぎると管理に手間が取られるため県内の図書館ネットワークが便利になってきているので、愛知県の図書館にある古い資料は除籍をして適正な蔵書管理をするように、ということ saying してみえた。新しい資料も少ししか入荷しないので、棚に古い資料を長く置いておくのではなく、割り切って古い資料は開架からはずし、新しい資料を目立たせるように、ということも saying してみえた。

E 委 員 : 図書館としては、利用を増やしたいのか、貸出冊数を増やしたいのか？

事 務 局 : 昔は「貸出数が多い図書館が良い図書館」という雰囲気があった。今の時代は、貸出数だけでなく、生活と密接に結びついている図書館、何か困ったことがあると図書館に相談して何らかの情報が手に入ることが可能な図書館を目指して行きたい。

E 委 員 : 年間行事のPRはどのような方法を取っているか？

事 務 局 : 広報「へきなん」や館内チラシのほか、夏休みや秋の読書月間など大きいものは学校や園を通じてチラシを配布している。また図書館HPにも情報を掲載している。

F 委 員 : 外国人の方の図書館利用はどうか？子どもの友達にも外国人の子がいる。コミュニティはあると思うが、どのように情報を入手しているのか？外国人も受け入れる図書館であってほしい。

事 務 局 : 資料が古いが、外国語の資料もある。また雑誌もある。利用は以前と比べると減っていると感じるが、インターネット閲覧にみえたり日本語を学ぶための資料を探しにみえたりしている。

C 委 員 : 中学校では朝の読書などで読書の時間がある。以前は図書館と一緒に読

書感想文の審査会なども行っていた。感想文の書き方のヒントや子どもがどんな本を読んでいるのか情報提供などもお願いしたい。

会 長 : また事務局で検討していったほしい。また「図書館サービス計画」は予算の中でどの項目に入っているのか？

事 務 局 : 「11 市民図書館臨時事業」に入っている。遠方から碧南市にみえるアドバイザーへの謝礼や、図書館協議会で1回分増える分の皆様の謝礼、印刷するための用紙代などが計上されている。

会 長 : アンケートの郵送代も計上されているのか？

事 務 局 : アンケートの郵送代は市役所の行政課予算でお願いしている。

教 育 長 : 予算で神谷（猛）委員と同じ疑問を持ったので補足する。昨年度予算と今年度予算を見ると270万4千円減額されているが、「碧南市の図書館」のP13を見るとわかりやすい。「15の工事請負費」が0になっており、差し引きすると他の予算は増えている。予算は増加しているとご理解いただきたい。

④その他

会 長 : 事務局の方からその他の議題はあるか？

事 務 局 : 「サービス計画（第二次）」補足で、12月に議会に報告させていただくと、図書館協議会で審議していただき、パブリックコメントで市民のご意見をいただく構成になっていることをご理解いただきたい。

会 長 : では、その他、質疑のある方はみえるか？

【質疑応答】

B 委 員 : 駐車場の件だが、先週の金曜日13時30ごろ雨が降っている中來館した。困ったのは、第1駐車場に入ったが満車で、他の駐車場へ行こうかと思ったが出口が信号の近くであるため、駐車場から出るのも再度入るのにも難儀した。職員は朝出勤し、帰るまで車を動かさないで利用者が難儀しているのがわかりにくいと思う。第1駐車場で方向転換できるように出口付近の駐車スペースを方向転換用の通路に変更するのはどうだろうか？ホールでいろんな行事を行うため満車になることが多い。どうにかならないか？

事 務 局 : 第1駐車場の中で方向転換という発想がなかったので参考にさせていただく。また、駐車場が足りない件は近隣の地主さんと借地や買収の協議を行っている。全体として増える可能性があるため第1から第3への一方通行のように車が流れるように考えて行きたい。ただ他の駐車場が増えても第1駐車場の車の流れの件は解消しないので、その点のご意見を検討していきたい。

会 長 : 駐車場の舗装の件が前回も出たが、舗装していないとぬかるみで汚れた靴で館内を歩くため、館内も汚れる。

事 務 局 : 話がでた駐車場は第8駐車場だが、借地のため舗装ができない。現在、雨が降ると大きな水溜りが3つくらいできる。舗装はできないが、碎石にコンクリートをまぜ、水溜りができないような工事を考えている。予算要求をして行きたい。